

日本心臓管理理学療法学会「COVID-19 関連情報特別チーム」
海外の専門情報

No. 63

調査者	藤田 吾郎、井澤 和大
情報ソースの刊行日	2020年11月13日
情報ソースの調査日	2021年1月9日
日本理学療法士学会 HP に公開された日	2021年1月14日
日本語タイトル	COVID-19 パンデミックの最初の急増中患者の経験と心臓遠隔リハビリテーションに対する支払い意思:単一施設での経験
情報ソース	Scherrenberg M, et al. Patient experiences and willingness-to-pay for cardiac telerehabilitation during the first surge of the COVID-19 pandemic: single-centre experience. Acta Cardiol. 2020 Nov 13:1-7.
情報のカテゴリー	回復期の心リハ、生活期の心リハ(介護・福祉系を含む)、包括的心リハ
発信地域	ヨーロッパ(ベルギー)
URL	https://doi.org/10.1080/00015385.2020.1846920
要約	<ul style="list-style-type: none"> ・ COVID-19 パンデミック時の心臓遠隔リハビリテーション(遠隔CR)の患者経験に関する匿名のアンケート調査が実施された。 ・ 遠隔CRは、循環器専門医による医学的な相談、栄養士による指導、心理学者による個別相談、そして理学療法士による運動プログラムにより構成された。 ・ 対象は、遠隔CRのセッションに参加した155人である。 ・ 患者155人中、55人(35%)がアンケートに回答した(平均年齢65.4±10.5歳)。 ・ COVID-19 パンデミック後に、遠隔CRをセンターベースのCRセッションと組み合わせれば、遠隔CRも選択肢の一つになると答えた患者は54%であった。 ・ パンデミック後に遠隔CRを受けないと回答した患者は10%であった。 ・ センターベースのCRと組み合わせなくても遠隔CRが選択肢の一つになると答えた患者は36%だった。 ・ 遠隔CR参加者の94%は、提供された遠隔CRに満足していた。 ・ 遠隔CR参加者の70%は、センターベースのCRと同様に、遠隔CRの費用を支払う意思があった。 ・ 全遠隔CR参加者のうち、アンケート回答者(35%)は、意欲の高い患者であり、調査結果に影響を与えた可能性がある。